



## ～子どもたちの考えと行動は?～

2学期に入ってから、地域の皆様のご支援をたくさんいただいています。おかげさまで、子どもたちの学びは充実しており、大変有り難く思っています。

夏休みが終わってすぐに、5年生・6年生の家庭科の時間に、手縫いやミシンの実習を一緒に行っていたいただき、アドバイスをくださ

たり、2年生と2回目の町探検に出掛けてくださり、八坂神社の歴史や田代郵便局前にある黒いポストについて教えてもらったりしました。



このように、学校の教育活動に地域の方が関わってくださることで、子どもたち、そして、わたしたち学校職員は、地域の力を直に感じる事ができています。また、併せて、地域の方にとっては学校での子どもたちの様子や教育活動について知っていただく機会になっていければ幸いです。

こうしてご協力いただくことに、子どもたちはどのように思っているのか、6年生の声を少し紹介します。

### 【① 地域のみなさんに支えてもらっていることは?】

- ・朝や帰りの見守り・あいさつ、言葉掛け、交通指導
- ・地区のいろんな行事のお世話、ボランティア活動
- ・家庭科や社会科、総合など、学校の授業のお手伝い
- ・野球など放課後の社会体育のお世話 など

### 【② 支えてもらっていることについて、どんなことを思う?】

- ・「ありがとうございます」という感謝の気持ちをもちます。
- ・地域の人たちは、自分たちに優しいと思います。心強い。
- ・登校の時に立ってくれたりすると、安心するから、とても

うれしいし、ありがたいと思うし、感謝の気持ちを伝えたい。

- ・いろいろなことを教えてくれてありがたいなと思います。
- ・雨の中でも立っていてくれてありがたいと思っています。
- ・登校班に付いてきてくれるのは、わたしたちの安全を思っただと思います。朝から子どもたちと同じ時間に集まったり、一緒に歩いたりしてくれてすごいなと思います。大雨の時も立ってもらっているので申し訳ない気持ちもあります。
- ・子ども会の行事の準備などをしてもらっているので、わたしもできることをお手伝いしたいと思っています。
- ・地域の方からあいさつをしてもらえて、朝早くから元気がもらえるので、ありがたいうれしい気持ちになっています。
- ・地域の行事は、地域の人にいろいろやってもらっているからとても楽しいと思うので、本当にありがたうと思っています。
- ・家庭科のときに手伝ってもらって、まちがえずにすることができました。(地域の方も自分の)仕事があるのに、わたしたちのために来てくれてありがたいと思いました。 など

子どもたちは、地域の方に支えてもらっていることを、よく分かっており、感謝の気持ちをいっぱいもっていることがうかがわれます。6年生ともなると、これまでの年月でたくさんの方に関わってもらってきたので、よけいにそう思うのでしょう。実はもうひとつ、子どもたちに尋ねたことがあります。それは【③小学生でも、地域の力になることができます。どのようなことでできると思っていますか?】ということでした。この問いに対し、子どもたちの回答のほとんどは、『あいさつをする』でした。確かに、その通りです。自分の声で、その場ですぐに、誰でもできる『あいさつ』こそ、子どもたちが発揮できる地域への力だと思います。しかし、実際は少し残念な状況です。9月22日の学校運営協議会でも、再度話題になったのですが、登校中の子どもたちのあいさつは、なかなか声が出ておらず、見守りの方々もさびしい気持ちになられているようです。基本的なことですが、あいさつは人と人を結ぶ言葉です。簡単に当たり前にできそうですが、それを自然に口にする事ができるには、毎日の生活の中で積み重ねられている必要があります。学校でももちろん、引き続き子どもたちとのあいさつを大事にしていきたいと思います。是非ご家庭も「おはよう」「いってきます」「ただいま」「おやすみなさい」そして「ありがとう」などのあいさつの言葉がたくさん交わされる環境であってほしいと思います。